

令和7年度 第2回川崎市社会教育委員会麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和7年8月27日（水） 午後2時02分～4時10分

■場所 麻生市民館 第1会議室

■出席委員 市民委員（部会長）
川崎市立麻生中学校校長
麻生区文化協会副会長
麻生市民館サークル連絡会副会長
麻生区町会連合会常任理事
和光大学現代人間学部非常勤講師
麻生区PTA協議会副会長
（欠席：麻生区地域教育会議議長
市民委員

浜田 富美恵
金子 光弘
横川 博行
平出 圭子
岡倉 進
角田 季美枝
前村 嘉昭
名古屋 洋一
田澤 梓

■事務局 麻生市民館相澤館長、岡上分館村野館長、管理係内藤担当係長、
社会教育振興係松本係長、齊藤職員

■傍聴者 2名

■議事等

1 あいさつ

事務局（相澤館長）

- ・時候の挨拶
- ・第2回専門部会に先たち8月5日に検討会、また、高津市民館と中原市民館に市民館だよりの聞き取りのため岡倉委員と角田委員に訪問いただいた。お疲れ様でした。
- ・指定管理者選考結果が8月25日に教育委員会のホームページに公開されたので、その他資料として添付しています。ご確認ください。

2 部会長・副部会長選定

事務局（相澤館長）

第1回専門部会開催後、部会長であった地域教育会議議長の井上委員が退任された。後任として地域教育会議から名古屋議長が委員に就任となりました。

部会長が不在となっていますので、部会長・副部会長の選定をお願いします。

浜田副部会長

今回は副部会長として進行を担当させていただきますが、欠席委員がおりますので、選考は別途選考がよいと思いますが、残りの専門部会を考えると回数が少ないのでいかがなものかと。

角田委員

部会長が退任したので副部会長に部会長になっていただき、副部会長は次回選任することにしてはどうか。

浜田副部会長

任期も残り少ないので、角田委員の意見をいただいたので、皆さんの承認がいただけるのであれば引き受けさせていただきます。

出席委員

全員承認、部会長：浜田委員、副部会長：次回専門部会で選出とする。

3 議事

(1) 令和7年度の主な事業・工事の実施状況について

資料1（令和7年度 麻生市民館 社会教育振興事業 実施計画）および資料1-2（令和7年度 麻生市民館岡上分館 社会教育振興事業実施報告・計画）により事業及び施設整備概要を説明。

事務局（松本係長）

資料1の補足として領域1、子育て・共育学習活動、家庭・地域教育学級の「初めてママのHappy! ママライフ」について年2回の開催を検討しましたが、全体の年間計画から実施困難と判断したため、学習内容の見直しを行い、対象月齢2カ月から9カ月（7カ月分）を2カ月から11カ月（9カ月分）に拡大しました。

また、領域5、現代的課題対応学習事業、地域コミュニティ交流・学習事業において、麻生文化センター開館40周年記念として「ひとのわフェス」を開催しました。このフェスをきっかけに参加者同士のつながりがゆるやかに出来ていると多方面から報告が届いてきています。

事務局（内藤係長）

麻生市民館の工事として、令和7年1月に実施した高架水槽の工事に続き、令和8年1月に貸館を停止して受水槽の更新工事を実施します。

角田委員

受水槽更新工事による貸館停止について、広報をしていますか。

事務局（内藤係長）

ホール受付が1年前からとなっているため、施設予約システムであるふれあいネットで工事期間中の使用ができないようにしています。

角田委員

ふれあいネットを見ない人もいると思うので、館内への掲示等を検討してください。

事務局（村野分館長）

資料1-1の補足として領域3、市民エンパワーメント事業、市民エンパワーメント研修の「キミのチカラを生かしてみないか!」では10人の学生参加があった。参加申込も誘われたのではなく、自ら申込をしてくれた学生もいた。参加者アンケート今後の活動に前向きな感想もあったため、出された企画を絞ったうえで年度内に可能であれば事業化していきたいと考えています。

また、領域4、市民・行政協働・ネットワーク学習事業、麻生区地域課題対応事業の「夏休み子どもサマーカレッジ」では、実施広報に岡上小学校の協力もあり、地元岡上地区から多くの参加がありました。講座「動くスライム理科実験&大学キャンパス探検」は初めての取組で、和光大学を会場として教員や学生に施設案内と実験への協力を得ながら実施しました。

領域5、現代的課題学習事業の「リアルな体験から学ぶ親子防災講座」では、区危機管理担当にも協力を依頼し、岡上分館を避難所に見立て、リアルな防災体験を通じて啓発につなげました。広報においては岡上小学校の協力もあり、参加者全てが岡上小学校児童となりました。

工事については、談話室の奥をフローリング化する改修工事を9月に行います。また、昨年度から継続していた隣地境界部へのフェンス壁造作工事は完了しました。

前村委員

市民エンパワーメント研修参加者による事業化はどのような状況ですか。

事務局（村野分館長）

講座に参加した学生にアンケートをとり、企画のアイデアも出してもらいました。参加者全員が参加するわけではないが、企画を絞り11月頃に事業化できないか検討しています。

浜田部会長

岡上分館の事業では岡上小学校の広報協力が大きいと感じました。

事務局（村野分館長）

最近ではイベントチラシの児童個別配布ができないことになっているが、ギガ端末だと見なかつたり気づかないことが多く、やはり紙媒体が効果的と感じる。

横川委員

子ども対象事業は学校の広報協力は影響が大きいです。麻生区文化協会では例年「夏休み子ども文化教室」を実施していますが、学校でのチラシ配付ができなくなり、申し込みが減少して事業を中止した経過があります。

金子委員

学校でのチラシ配付は基本として行わなくなっています。参考ですが視覚による訴えは効果があり、チラシ配付ではなくクラス掲示板への掲出・2枚で対応することがあります。

岡倉委員

町会として学校にボランティア募集の依頼に行ったところ、多くの協力をいただいたので、実際に訪問することもよいと思います。

浜田部会長

金子委員、クラスに掲出するチラシにQRコードを載せた場合、生徒の皆さんはギガ端末でQRコードを読み取り内容確認はできるのでしょうか。

金子委員

生徒1人に1台ギガ端末の配置があり、QRコードを読み取って開くことができます。

前村委員

広報としてメーリングリスト等で今まで講座に参加したことのある方に講座のお知らせをダイレクトに流す等の方法もあると思います。また防災に関する事はPTAでも必要と思っている。ニーズがある所と共催することにより有効な広報につながると思います。

岡倉委員

町会で先日夏祭りがあり、その中で区危機管理担当に来てもらって防災教室をしてもらいました。配布物等、いろいろ提供いただけるのでありがたい。

事務局（村野分館長）

私は区危機管理担当が前職で、町内会やPTA等のイベントに声をかけていただけるとありがたいと思っていました。「防災」をテーマにすると集客が良くないため、区単独では多くの参加者を募るのが難しいと思っていました。

角田委員

防災については子どもだけではなく高齢者までの広い範囲が対象、市民館の学習に入れていただくとありがたいです。

(2) 社会教育振興事業のPDCAについて

事務局（相澤館長）

資料2（社会教育振興事業実施のながれ）により概要を説明。

資料1-3は各担当者が事業終了後に結果欄を記入し、年度事業計画は年度末から新年度以降に作成しています。この様式は市内13館共通のもので、担当者会議の中で情報共有や意見交換等を実施しています。

角田委員

指定管理に移行した場合はどうなるのか。職員でないと解らないのではないかな。

事務局（相澤館長）

指定管理者には実施後の報告、実施計画について区職員が確認していきます。また、今年度から中原と高津の市民館に指定管理者が導入されていますが、担当者会議には参加しており、情報共有を図っています。

前村委員

共通様式の6年度結果について課題欄が空欄のものがあるので改善が必要ではないかな。また、担当者だけの主観による振り返りは避けた方が良い

事務局（相澤館長）

記載内容は事業担当者の主観による部分もあり、館内で確認していく必要もあると思っています。

浜田部会長

私は担当者会議に参加経験があり、この会議で13館の情報交換ができ、また、空欄部分も補完できるので、大変勉強になる会議と思いました。

岡倉委員

担当者会議の実施時期と事業の実施時期はどうなっていますか。

事務局（相澤館長）

各事業は例年同一の時期に概ね実施しています。担当者会議は職員の業務都合や他の業務等と重複しないよう日程調整をしながら5月から6月に開催しています。

角田委員

市民自主事業について市民館の支援はあるが提案は3年までであり、その後の伴走が必要で

はないか。宮前市民館では市民自主学級の企画提案者向けに市民自主学級スタートブックが準備されているが、採択後や終了後の説明はない。

(参考) 宮前市民館の「スタートブック 2025」に関する情報提供

<https://www.city.kawasaki.jp/miyamae/page/0000171172.html>

事務局（相澤館長）

市民自主事業実施団体には、事業終了後にも何らかの活動を継続いただければと思っています

岡倉委員

資料２－１（社会教育振興事業のPDCAについて）、資料４（改善提案シート）により概要説明

専門部会委員任期は２年であり、調査・審議に２年をかけるか１年で終わるかを考えて、１年で行えることとして事業改善について資料を作成した。

角田委員

事業数が多く個別に改善提案シートを作成するのは困難ではないか。

岡倉委員

専門部会には文化協会のほか区内で活動している方で構成されているので、皆さんの意見を反映できればと考えています。

平出委員

様式があるとわかりやすいし、明確になると感じました。

前村委員

資料２－１を行う場合、資料４につなげることでいいですね。

浜田部会長

様式を記入するのは誰をイメージしていますか。

岡倉委員

意見を言った方が担当するイメージです。

前村委員

意見を言った人の意見を専門部会でもんでいくこと。

角田委員

専門部会でどこまで協議するのか。領域ごとに選出母体が関係する領域を担当するか。

岡倉委員

例えばシートを作成する場合、１２月にシートがあれば次年度事業に反映は可能か。

事務局（相澤館長）

事業によって異なります。早急に対応すべき事項、検討が必要な事項もあると思いますので、一概にどの時期では可能とは言えません。

浜田部会長

専門部会では、毎回社会教育振興事業実施計画・結果が説明され、前回の記録確認も行っています。

平出委員

市民館に対し専門部会として意見を伝え、市民館が良くなってほしいと思います。

横川委員

シートを作成する場合、私が担当しても意見や評価は難しい。事業計画にある「識字学習活動」について、予算がいくらで結果を提示されても事業内容を理解されても評価はできない。自分が活動した内容・事業、例えば俳句ならば意見を言えますが、それ以外は困難です。過年度に一箱古本市を実施したが、実際に見ていたの意見で意見を言えた。意見を誰が言えるのかも難しい。

岡倉委員

横川委員から事業実施に伴う学校との連携、PTAさんや校長との協力に関する話があったが、個別事業に対する提案シートではなく、学校との連携について意見をまとめるのもよいのではないかと。その都度検討結果を報告してもらう方法とか、報告書ができてからその内容に関する取組結果等を報告してもらうとか、シートを使って報告してもらうとか、その状況や内容により、対応結果や報告・回答方法についてはいろいろあっても良いのではと思う。

前村委員

アクションプランを専門部会摘録に入れて、次回に取り組み案を市民館から報告いただければ、あえて様式化しなくてもよいのではないかと。

角田委員

摘録は記録なのでアクションプランを入れるのはどうかと思うが、次回専門部会で対応報告をいただければ良い。

浜田部会長

これまでの話の中で社会教育振興事業におけるPDCAは確認できたと思いますので、この件についてはこれで終了とさせていただきます。

(3) 市民館だよりについて

角田委員

資料3の9ページにより概要説明

麻生文化センターだよりの発行から年月がたち、SNSの普及など状況が変わっている。麻生図書館で貸し出しはできないが閲覧できるので、過去のものも参考いただきたい。

発行当初は市民館に来てほしいと館長や職員、施設紹介や事業など、様々な情報が掲載されていたが、区役所に事務が移管されたころから、事業案内中心の記事になっているようだ。

高津・中原市民館に話を聞きに岡倉委員と行ったが、高津は東急が担当で作成、中原は市民館職員が全員で作成しているとのことで、方向性などそれぞれ特徴があると思いました。

岡倉委員

資料3により高津・中原市民館のたより作成の聞き取り該当を説明

最初だからか広報に力を入れていると感じた。紙媒体とSNS等の電子媒体をうまく連動されている。また、高津・中原ともに自由に使用できるスペースが確保されていて、人が来やすい場となっている。これも一つの広報と感じた。麻生の魅力は図書館との併設。

広報はコミュニケーションと感じた。

横川委員

高津・中原ともに指定管理に移行しているが、内容に変更はあったのか。

角田委員

市民館は社会教育振興事業を実施することが基本であり、そこに指定管理者の考えを載せている状況。

岡倉委員

最近インスタを始めました。例えばサークル連絡会でインスタを作成し、それを市民館だよりで紹介できたら、広報に役立つのでは。

平出委員

区役所にもX（ツイッター）はありましたね。

事務局（村野分館長）

フォロワーは少なめだが区役所にX（ツイッター）はあります。

角田委員

市民館だよりに指定管理に関すること、専門部会の活動についての掲載はどうか。

事務局（相澤館長）

利用者説明会について10月号に掲載を予定している。また、市政だよりへも掲載予定です。

横川委員

前回の専門部会ではあえて掲載する必要はないと発言している。

浜田部会長

指定管理について市民説明会を市民館だよりに掲載するのであれば、指定管理についてはそれでよいと思います。

岡倉委員

専門部会の内容は市民館だよりでは難しいと思います。

浜田部会長

そろそろ時間です。社会教育振興事業のPDCAの検討は今回で確認したと理解してよい

か。次回は広報を中心とした検討、市民館だよりへの専門部会の掲載検討でよい

委員全員

確認

角田委員

次回専門部会は12月でしばらく期間があくが、今回のように事前に検討会を開く必要はあるか。

委員全員

検討会はあったほうがよい。10月までは忙しいので、11月下旬に開催する。

浜田部会長

検討会の日程調整については、事務局をお願いします。

これで第2回専門部会を終了します。